

■キューバ：首都を含む国土の半分以上を巻き込む大停電が発生

2012 年 9 月 9 日、南東部のカマグエリから最西端のピナールデルリオ間（約 720km）において、首都ハバナを巻き込み数時間の停電が発生した。停電は午後 8 時頃に発生し、首都のハバナでは 5 時間以上にわたって、電力の供給が停止した。影響を受けた住民の数は不明であるが、ハバナで停電が発生したことで少なくとも 220 万人以上は影響を受けたことになる。政府は、停電の原因がシエゴデアビラ～サンタクララ間の 22 万ボルトの送電線の不具合であるとしている。国営放送によると、非常用電源と 13 の独立系統により、9 月 10 日午前 2 時 30 分までに正常化した。3 つの主要発電所が系統接続される 9 月 11 日までの間、ピーク時間帯において西部地域で停電になる可能性があるという警告している。報道によると、キューバでは設備の老朽化による停電は頻発しているが、今回の停電の原因については調査中である。